

(農) 野津田農園に就職して野菜作りに励む

【平成 28 年 9 月 26 日掲載】

庄原市総領町在住の小野原壱成（おのはらいつせい）さん（21 歳）は県立農業技術大学の畜産課程を平成 28 年 3 月に卒業後、4 月から府中市上下町の（農）野津田農園（野津田吉昭（のつだよしあき）代表理事，経営面積 17ha）に就職しました。

（農）野津田農園は水稲を中心にして，キャベツ，はくさい，アスパラガスなどの野菜や繁殖牛（2 頭）を経営しています。

現在，キャベツの定植が終わり，小野原さんは約 20a のほ場にはくさいの苗を 4,000 本定植するための作業を行っています。大学校では，肉用牛中心の勉強で，野菜の作業については法人に就職してからのため，最初は不慣れな様子で作業をしていましたが，今ではかなり慣れた様子です。

小野原さんは，野菜の作業について「野菜は機械作業が多く，体が疲れることはない。ほ場や土壌条件によって機械の操作方法が毎回違ってくるのが難しい。早く一人で判断できるようになりたい。」また，「将来は，野菜と牛の勉強をしていき，法人経営の拡大に貢献したい。」と力強く語ってくれました。

東部農業技術指導所では，小野原さんへは野菜の技術研修を実施し早期の技術習得を，野津田農園へはキャベツの栽培技術を引き続き支援していきます。



【はくさいを定植する小野原さん】



【野津田代表（右）と作業する小野原さん（左）】

情報提供元

東部農業技術指導所